AQUARINO

DISPLAY

ユーザーマニュアル



水槽のパラメーターを映し出すパネル

リアルタイムで

目次

まえがき

このマニュアルの使い方

第 I 部 **Aquarino Display を知る**

1 Aquarino Display とは

2 箱の中身と各部の名称

3 モデル

第 II 部 **設置と連携**

4 設置

5 Wi-Fi ネットワークへの接続

6 データソースを選ぶ

第 III 部 **日々の使用**

7 画面の読み方

8 センサーとローテーション

9 明るさ・テーマ・ナイトモード

10 コマンドショートカット

第 IV 部 **設定とメンテナンス**

11 設定ポータル

12 ソフトウェアの更新

第 V 部 **メンテナンスとサポート**

13 トラブルシューティング

14 よくある質問

15 仕様

16 サポートと保証

まえがき

アクアリストなら誰もがそうであるように、私も自分の水槽の生き物たちにとって最良のものを探し続けてきました。数多くの機材や製品を試し、学んできました。

水槽を監視し、制御し、管理を助けてくれる機器をいくつも購入しましたが、どれも私のニーズを完全に満たしてはくれませんでした。設定は難しく、価格は高く、制約も多かったのです。

そこで私は、自分の技術的な知識と個人の資金を使って、この趣味に新しい選択肢を提供しようと決めました。Aquarino が生まれたのは、その瞬間です。

私たちが築き上げてきたものを、とても誇りに思っています。多くのアクアリストが積極的に参加し、提案を寄せてくれました。この結果にたどり着けたのは、皆さんがこのプロジェクトを信じてくださったからです。

Aquarino の本質として守り続けたいのは、アクアリストとの直接のつながり、身近なサポートと対応、そして新しい機能や製品をすばやく届けることです。

ご質問、ご提案、アクアリウム談義には、ぜひ私たちのコミュニティにご参加ください。

- WhatsApp: https://chat.whatsapp.com/Hp9GjAmptpUEzbykjlUCMC
- Facebook: https://www.facebook.com/AquarinoController
- YouTube: https://www.youtube.com/c/aquarino

Aquarino が前進し、使いやすさ・機能・サポートの面で世界のアクアリウム界の基準となるためには、私たち全員の力が必要です。

ありがとうございます。皆さんの信頼にお応えし、この趣味を新しい次元へと引き上げていきます。

Laercio M F Junior

Aquarino 創業者／イノベーション担当ディレクター

このマニュアルの使い方

このマニュアルは、初めての方が順番に通して読み、そのあとは項目ごとに調べて使えるように書かれています。Aquarino Display が届いたばかりであれば、第II部を順に進めてください。数分後には水槽のパラメーターが表示されます。

本文には4種類の囲み記事が登場します。

解説

推奨の背景にある理由を説明します。読まなくてもかまいませんが、日々の判断がより的確になります。

ヒント

時間を節約したり、結果をよくしたりする実践的なヒントです。

注意

正常な動作の妨げになりうる状況です。目を通しておく価値があります。

例

具体的な実例です。考え方を定着させるために用意しています。

解説

このマニュアルの画面

Aquarino Display は頻繁に更新され、マニュアルもその都度あわせて更新しています。画像とお使いの画面との細かな見た目の違いは想定内であり、問題を示すものではありません。

解説

インターフェースの言語について

本機のインターフェースは**ポルトガル語**と**英語**のみで提供されています（日本語表示はありません）。本マニュアルの画面写真は、英語表示のインターフェースです。

そのため、画面・タブ・ボタンの名称は、機器に表示されるとおりの**英語**で記載し、初めて登場するときに括弧内へ日本語訳を添えます。説明の本文はすべて日本語です。

第 I 部

Aquarino Display を知る

パネルができること、箱の中身、そしてモデルの違い。

1 Aquarino Display とは

2 箱の中身と各部の名称

3 モデル

第 1 章

Aquarino Display とは

Aquarino Display は、水槽のパラメーターをリアルタイムで目の前に映し出すパネルです。アプリを開く必要も、スマートフォンを手に取る必要もありません。ネットワーク経由で **Aquarino KH** または **Aquarino Controller** に接続し、あなたが選んだセンサーを1つずつ表示していきます。



棚の上の Aquarino Display。水槽のパラメーターが常に目に入ります。

1.1 できること

- Aquarino 機器のパラメーターを**表示**します。現在値、単位、最小値、最大値を、1つのセンサーずつ自動でローテーション表示します。
- 値が範囲外になると**知らせます**。色が変わり、何が起きているかをパネルが伝えます。
- **データの鮮度を示します**。フッターのスタンプが、その測定値が届いてからどれくらい経ったかを表示するので、いま見ているのが現在か過去かがわかります。

- **ローカルネットワークでもクラウドでも動きます**。自宅では機器を直接読み取り、UUID による連携はどのネットワークからでも機能します。
- タッチ対応モデルでは**コマンドを送信**できます。給餌、添加など、設定次第で最大4つのショートカットボタンを使えます。

1.2 できないこと

- **測定は行いません**。Display は鏡です。測るのは Aquarino KH または Controller です。データ元となる機器がなければ、表示するものはありません。
- コンセントやドージングポンプを**単独で制御することはありません**。ショートカットはデータ元の機器にコマンドを送るだけで、実行を判断するのはその機器です。
- **音による警報は鳴りません**。警告は視覚的なものです。ブザーを鳴らしメールを送るのは、データ元の機器です。

第 2 章

箱の中身と各部の名称

2.1 箱に入っているもの

- Aquarino Display 本体
- USB-C 出力の 5 V / 1 A ワールドワイド電源アダプター

2.2 各部の名称



Aquarino Display: PLA 製ケース、LCD 画面、USB-C コネクター。

部位	役割
ケース	PLA 製の筐体。画面モデルごとに造形されています
LCD 画面	すべてが起こる場所。フルカラーで、パラメーターがローテーション表示されます
物理ボタン	機器を再起動します
USB-C 入力	付属の電源アダプターからの給電

解説

センサー用コネクター、データケーブル、メモリーカードはありません。Display の通信はすべて Wi-Fi で行われます。設置とは、電源につないでネットワークを設定することです。

第 3 章

モデル

Aquarino Display には3つのサイズがあります。動作は同じで、違うのは画面とタッチの有無です。

モデル	画面	タッチ	本体画面での設定
Display 1.47"	1.47 インチ	なし	不可 — ブラウザーのポータルから設定します
Display 3.5"	3.5 インチ	あり	可能 — 画面の歯車から設定を開きます
Display 4.0"	4.0 インチ	あり	可能 — 画面の歯車から設定を開きます



タッチ画面を備えた 3.5" モデル。

タッチ対応モデルでは、スワイプでセンサーを切り替え、歯車から設定を開き、ショートカットボタンを利用できます（第10章）。コンパクトでタッチのない **1.47"** モデルでは、すべてをブラウザーの**ポータル**から設定します（第11章）。上部バーには機器の IP アドレスが表示され、アクセスしやすくなっています。

ヒント

1台の Aquarino 機器で、同時に **最大5台の Display** に配信できます。リビングに1台、書斎に1台、サンプの棚に1台といった使い方が可能です。

第 II 部

設置と連携

電源を入れ、ネットワークに参加させ、正しい機器に向ける。

4 設置

5 Wi-Fi ネットワークへの接続

6 データソースを選ぶ

第 4 章

設置

物理的な設置は簡単な部分です。Display にはセンサーもデータケーブルもチューブもなく、必要なのは電源アダプターだけです。

1. 平らで乾いた、よく見える場所を選びます。視線が通る場所に置いてこそ Display の意味があります。
2. 5 V の電源アダプターを側面の **USB-C** コネクターとコンセントにつなぎます。
3. 画面が点灯し、起動シーケンスが順に表示されます。

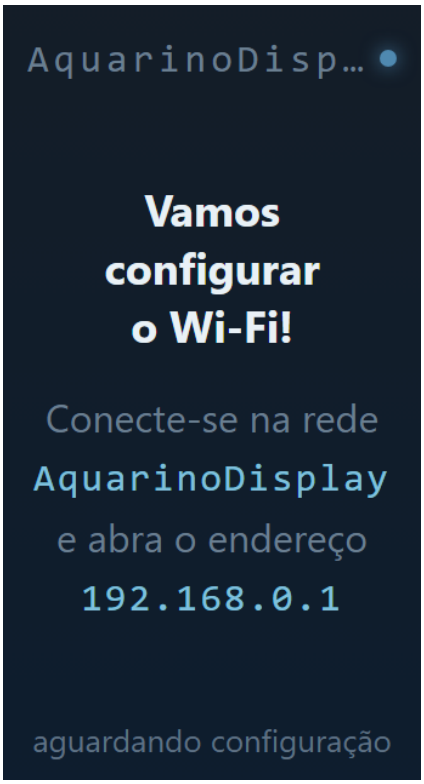
> 解説
>
> **起動画面が状況を教えてくれます**
>
> 起動画面には各段階が表示されます。**starting the screen**（画面を起動しています）、**reading settings**（設定を読み込んでいます）、**joining the network**（ネットワークに接続しています）、**checking registration**（登録を確認しています）、**looking for the device**（機器を探しています）、**asking the tank**（水槽に問い合わせています）、そして **ready**（準備完了）です。正常な動作を妨げるものがあると、バーは**問題のある段階でぴたりと止まります**。起動画面そのものが、最初の診断ツールになるのです。

ネットワークが未設定の初回は、Display が自分の設定用ネットワークを作ります。次章のテーマです。

第 5 章

Wi-Fi ネットワークへの接続

既知のネットワークに約1分間つながらない場合、Display は自分の Wi-Fi ネットワークを開き、画面が案内します。**"Set up over Wi-Fi — join the network and open 192.168.0.1"**（Wi-Fi で設定してください — このネットワークに接続して 192.168.0.1 を開いてください）と表示されます。



Wi-Fi 設定画面。使用するネットワーク名とポータルのアドレスが表示されます。

4 スマートフォンの Wi-Fi 設定を開き、画面に表示されたネットワークに接続します。工場出荷時は **AquarinoDisplay** です。パスワードなしのオープンなネットワークでインターネットには出られないため、警告が出た場合は接続を維持する方を選んでください。

5 ブラウザーを開き、**http://192.168.0.1** と入力します。多くのスマートフォンではポータルが自動的に開きます。

6 ポータルの **Wi-Fi** タブで一覧からご自宅のネットワークを選び、パスワード（8文字以上）を入力して保存します。

7 Display が再起動し、ご自宅のネットワークに参加します。これで完了です。画面のバーに Wi-Fi の電波強度が表示されるようになります。

ネットワークの条件	内容
2.4 GHz のみ	他の Aquarino 機器と同様、Display は 5 GHz のネットワークには接続できません
十分な電波強度	電波が非常に弱いネットワーク（−75 dBm 未満）はポータルの一覧に表示されません
8文字以上のパスワード	ポータルはこれより短いパスワードを受け付けません。WPA 規格の最小値です

解 説

登録は自動で行われます

インターネットにつながった最初の接続で、Display はポータルに入力したメールアドレスを使って Aquarino のサーバーに自動登録されます。画面にコード付きで **"Device not registered"**（機器が登録されていません）と表示される場合は、この手順がまだ完了していません。インターネット接続を確認してお待ちください。登録が受け付けられ次第、画面は自動的に通常表示に戻ります。表示されるコードは UUID で、サポートから尋ねられることがあります。

ヒント

Display が以前は他の方のものであり、設定用ネットワークが現れない場合は、ポータルの **factory reset**（工場出荷時リセット、System タブ）を使ってください。ネットワーク、データソース、各種設定は消えますが、**登録は保持される**ため、手続きなしですぐに使い始められます。

第 6 章

データソースを選ぶ

Display がネットワークに参加したら、あとは**データがどこから来るのか**を教えるだけです。どの Aquarino KH または Controller を映すのかを指定します。これはポータルの **Data source**（データソース）タブで行います。タッチ対応モデルなら本体画面からも設定できます。

6.1 指定する3つの方法

方法	しくみ
ネットワーク上の機器一覧	Display がネットワーク上の Aquarino を検索し、見つかったものを一覧表示します。あとは選ぶだけです。すべてが同じネットワークにある場合の通常の方法です
機器の IP アドレス	KH または Controller の IP アドレスを入力します。自動検出で機器が見つからない場合に便利です
機器の UUID	固有の識別子（ラベル、または機器の System 画面に表示）を貼り付けます。連携がクラウド経由になるため、**どのネットワークからでも機能します**

6.2 ローカルネットワークか、クラウドか

Display は最適な経路を自動的に選びます。順番は常に同じで、**まずローカルネットワーク**（速く、インターネットに依存しません）、機器に直接届かないときは**クラウド**です。画面のバーにある **LAN / CLOUD** のバッジが、いまどちらの経路を使っているかを示し、ポータルにも同じ状態が表示されます。

バッジ	意味
LAN	ご自宅のネットワーク経由で機器を直接読み取っています。インターネットがなくても動作します
CLOUD	Aquarino のクラウド経由で読み取っています。Display が別のネットワークにあるときの経路です
ソースなし	まだ機器が設定されていません

解説

機器ごとに届くもの

Aquarino Controller: Display は Sensors 画面で**お気に入り**に指定されたセンサーを表示します。ホーム画面のカルーセルと同じ組み合わせです。Display に表示する内容を変えたいときは、Controller 側のお気に入りの星を変更してください。

Aquarino KH: ローカルネットワークでは、Display はアルカリニティ、pH、その他の指標を追います。クラウド経由の場合は、本機の中心的な測定値である**アルカリニティ**に絞って追跡します。

6.3 センサーの数と読み取り間隔

- Display はデータ元の **最大24個のセンサー**を追跡します。
- 機器の読み取りは工場出荷時で **1分** ごとです。ポータルで 5、15、30、60 分に変更できます。
- **20分間新しいデータが来ない**センサーは古いとみなされます。値が薄く表示され、フッターのスタンプが知らせます。そのまま無言が続くと、再び値が届くまでローテーションから外れます。

例

温度、pH、塩分をお気に入りに設定した Aquarino Controller の場合。Display は3つを5秒ごとに切り替えて表示し、ローカルネットワーク経由で毎分機器を読み取ります。インターネットが止まったら？ 何も変わりません。バッジは **LAN** のままで、パネルは更新され続けます。

第 III 部

日々の使用

ひと目で画面を読み取り、自分好みに整える。

7 画面の読み方

8 センサーとローテーション

9 明るさ・テーマ・ナイトモード

10 コマンドショートカット

第 7 章

画面の読み方

Display の画面は、ひと目で読み取れるように設計されています。大事なものは大きく、それ以外の要素はデータの来歴を語ります。どこから来て、いつ届き、信頼に値するかどうかです。



表示中のセンサー。名称、値、単位、最小値、最大値。

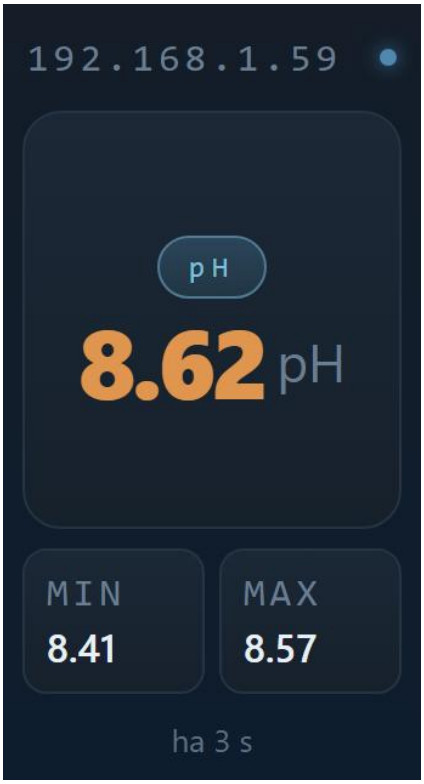
7.1 上部バー

要素	表示内容
識別表示	データ元の機器名。1.47" モデルでは、ポータルにアクセスしやすいよう Display の IP アドレスが表示されます
LAN / CLOUD バッジ	データがどの経路で届いているか（第6章）
電波バー	Display の Wi-Fi の電波品質
点滅するドット	パネルの鼓動です。点滅していれば Display は生きていて読み取りを続けています

要素	表示内容
時計	現在時刻
歯車	タッチ対応モデルでは、本体画面で設定を開きます

7.2 表示中のセンサー

- センサーの**名称**（データ元の機器での表記のまま）
- **現在値**と単位
- **MIN と MAX**（記録された最小値と最大値）。範囲を持たないセンサー（水位、漏水）は -- と表示されます
- データ元の機器が状態を通知すると、値の色が変わります。範囲を**下回る**と青、**上回る**と琥珀色です。



範囲外の状態。値の色で、離れた場所からでも逸脱がわかります。

7.3 フッターのスタンプ

フッターは、パネルにとってもっとも重要な問いに答えます。**このデータはいつのものか**、です。

スタンプ	意味
UPDATED X MIN AGO（X 分前に更新）	新しいデータが、想定どおりの間隔で届いています
NO READING YET（まだ測定値がありません）	センサーは存在しますが、最初の値をまだ送っていません
LAST UPDATE …（最終更新）	データが古くなりました。値も薄く表示され、現在値と取り違えられないようになっています
OFFLINE（オフライン）	データ元が応答していません

> **解説**
>
> この視覚的な正直さは意図的なものです。古い数値を新しいかのように見せるパネルは、パネルがないよりも悪いからです。値が薄く表示されていたら、スタンプを信じてください。そしてネットワークかデータ元の機器を確認しましょう。

第 8 章

センサーとローテーション

Display は**一度に1つのセンサー**を表示し、データ元のセンサーを自動的に切り替えていきます。これがローテーションです。工場出荷時は **5秒** ごとに切り替わります。

- ローテーションの間隔は変更できます。本体画面の設定（タッチ対応モデル）では **3、5、8、10秒**、ポータルからは **2〜600秒** の範囲で指定できます。
- タッチ対応モデルでは、**スワイプ**すると即座にセンサーが切り替わります。そのあと自動ローテーションは1分間停止するので、ゆっくり確認できます。
- ポータルの **Sensor rotation**（センサーローテーション）タブでは、パネルに出したくないセンサーを**非表示**にできます。機器側には残ったまま、表示から外れるだけです。

> ヒント
>
> **表示内容を決めるのはデータ元の機器です**
>
> Aquarino Controller の場合、ローテーションには**お気に入り**のセンサー（Controller の Sensors 画面の星）が表示されます。詰め込みすぎたパネルは誰も読みません。本当に大切な半ダースほどのパラメーターをお気に入りにして、残りは隠しましょう。



アルカリニティを大きく表示。Aquarino KH から直接届いた値です。

第 9 章

明るさ・テーマ・ナイトモード

24時間つけっぱなしのパネルには、輝くときと消えるときを知っていてもらう必要があります。これらはすべてポータルの **Display**（画面）タブにあります。タッチ対応モデルでは歯車の中です。

設定	選択肢
Brightness（明るさ）	30〜100%。下限が 30% なので、うっかり画面が「真っ暗になる」ことはありません
Theme（テーマ）	ダーク（既定）、ライト、ネオン
Language（言語）	ポルトガル語または英語
Rotation（画面の向き）	0°、90°、180°、270°。Display は縦でも横でも、どちら向きでも使えます
Night mode（ナイトモード）	視覚的に静かな時間帯です。22時から7時まで（変更可）、明るさが夜間レベルまで下がります。お好みで画面を完全に消すこともできます
Seconds per sensor（センサーごとの秒数）	ローテーションの間隔（第8章）

> **ヒント**
> 寝室に Display を置くなら、**"Screen off at night"**（夜間は画面をオフ）を有効にしたナイトモードがおすすめです。パネルはあなたと一緒に眠り、7時に自分で目を覚まします。夜のあいだもデータの読み取りは通常どおり続きます。

第 10 章

コマンドショートカット

タッチ対応モデル（3.5" と 4.0"）では、Display は表示するだけでなく操作もできます。ホーム画面に最大 **4つのショートカットボタン**を置け、それぞれがデータ元の機器にコマンドを送ります。

8 ポータルで **Shortcuts**（ショートカット）タブを開きます。

9 ボタンに**名前**を付けます。たとえば `Feed`（給餌）です。

10 **コマンド**を入力します。たとえば Controller のフィーダーを作動させる `FeederStart()` です。

11 ショートカットを有効にして保存します。ボタンが Display のホーム画面に現れます。

> **例**
> 水槽の横に置いた Display 4.0" に、2つのショートカットを用意します。**Feed**（`FeederStart()`）と **Extra dose**（`DoserRun(1,50)`）です。来客が魚に餌をあげたいときも、パネルをひと押しするだけ。スマートフォンのロックを解除する必要はありません。

> **注 意**
> ショートカットは、書かれたとおりのコマンドをそのまま送信します。経路はローカルネットワークまたはクラウドです。ボタンを作る前に、データ元の機器のマニュアルでコマンドを確認してください。また、タッチのない 1.47" モデルにはこの機能がありません。

第 IV 部

設定とメンテナンス

ポータルの全機能と、ソフトウェアの更新。

11 設定ポータル

12 ソフトウェアの更新

第 11 章

設定ポータル

ポータルは Display の設定センターです。ネットワーク内のどのブラウザーからでも、**機器の IP アドレス**（初回設定で使ったものと同じアドレス）でアクセスできます。設置のときだけでなく、いつでも使えます。

タブ	設定する内容
Wi-Fi	Display のネットワーク（第5章）
Data source	映し出す機器。ネットワーク一覧、IP、UUID（第6章）
Sensor rotation	どのセンサーを表示するか、1つあたり何秒表示するか（第8章）
Display	明るさ、テーマ、言語、画面の向き、ナイトモード（第9章）
Shortcuts	コマンドボタン。タッチ対応モデルのみ（第10章）
System	機器名、メールアドレス、更新、再起動、工場出荷時リセット

11.1 機器名

System タブで Display に**名前**を付けます。31文字まで、スペースは使えません。この名前は Aquarino アプリに表示され、Wi-Fi が切れたときに機器が作る設定用ネットワークの名前にもなります。愛着を持って付けましょう。`LivingRoomDisplay`、`SumpPanel` のように。

11.2 工場出荷時リセット

System タブのリセットボタンは、確認を求めたうえで **Wi-Fi、データソース、各種設定**を消去します。UUID と登録は保持されるので、機器を登録し直す必要はありません。タッチ対応モデルでは、本体画面の設定からも同じリセットを実行できます。

第 12 章

ソフトウェアの更新

Display は新しいバージョンの有無を自分で確認し（起動時と、その後は定期的に）、画面モデルに合った更新をインストールします。

- インストール中は画面に警告が出ます。**"Installing update. The screen goes dark for about a minute. Do not unplug."**（更新をインストールしています。画面が1分ほど暗くなります。電源を抜かないでください。）これは文字どおりの意味です。電源を抜かないでください。
- 更新しても**設定はすべて保持されます**。ネットワーク、データソース、ショートカット、各種設定はそのままです。
- 更新の状態はポータルの About カードに表示されます。最新、新バージョンあり、ダウンロード中などです。

> **注 意**
> ファームウェアの書き込み中に電源が切れると、機器が使用できなくなるおそれがあります。画面が電源を抜かないよう求めているときは、抜かないでください。全体でも1分ほどの作業です。

第 V 部

メンテナンスとサポート

よくある問題の解決方法と、私たちへの連絡手段。

13 トラブルシューティング

14 よくある質問

15 仕様

16 サポートと保証

第 13 章

トラブルシューティング

Display の画面は、いつでも自分の状態を伝えてくれます。まずはメッセージを読むところから始めてください。あとは下の表が答えてくれます。

画面の表示	対処
ネットワーク名付きの **"Set up over Wi-Fi"**	Display は設定モードです。表示されたネットワークに接続し、192.168.0.1 を開いてください（第5章）
"No Wi-Fi" と "connecting to..." または再試行のカウントダウン	保存されたネットワークが圏外か、パスワードが変わりました。再試行を待つか、設定をやり直してください
コード付きの **"Device not registered"**	登録がまだ完了していません。ネットワークがインターネットにつながっているか確認してください。コードは UUID で、サポートから尋ねられることがあります
ポータルの IP 付きの **"Data source"**	まだ機器が設定されていません。ポータルを開いてデータ元を指定してください（第6章）
"Waiting for data" と "retrying LAN/CLOUD"	データ元は設定済みですが、まだ応答がありません。データ元の機器の電源が入っていて、ネットワークにつながっているか確認してください
フッターの **"OFFLINE"**	データ元が応答しなくなりました。データ元の機器とネットワークを確認してください
薄く表示された値と "last update"	データが古くなりました（20分間更新なし）。多くはネットワークが不安定か、データ元の機器が処理で混み合っている場合です
起動バーがある段階で止まった	止まった段階がそのまま診断結果です。ネットワーク、登録、機器のいずれかです。示された点を解決して再起動してください
夜中に画面が消えている	"screen off" を有効にしたナイトモードです（第9章）。故障ではありません
センサーがローテーションから消えた	データ元でお気に入りを外されたか、ポータルで非表示にされたか、20分以上値が届いていないかのいずれかです

問題が続く場合は、物理ボタンで機器を再起動してください。設定は失われません。それでも解決しないときは、UUID を手元に用意してサポートにご連絡ください。

第 14 章

よくある質問

インターネットがなくても Display は使えますか

はい。データ元の機器と同じネットワークにあれば使えます。**LAN** のバッジは、まさにその状態を示しています。インターネットが必要なのは、初回の登録、異なるネットワーク間での UUID 連携、そして更新のときだけです。

水槽から離れた別の家で Display を使えますか

はい。**UUID** の方法で連携してください（第6章）。Display はクラウド経由でデータを取得するので、インターネットにつながったどのネットワークからでも利用できます。職場に置いた Display で自宅の水槽を見る、というのはごく普通の使い方です。

Display は何台まで使えますか

同じ機器を **最大5台の Display** で追跡できます。所有台数に制限はなく、それぞれ好きなデータ元に向けられます。

パネルに表示する内容はどう選びますか

データ元の機器で選びます。Controller ならセンサーを**お気に入り**に指定してください。Display は星に従います。さらに Display のポータルで、ローテーションからセンサーを隠すこともできます（第8章）。

Display は何かを測定しますか

いいえ。Display は鏡です。測定、キャリブレーション、警報はすべて Aquarino KH または Controller が行い、Display は表示するだけです。

値が薄く表示されるのはなぜですか

データが古くなったからです。新しい測定値が20分以上届いていません。フッターのスタンプが最後の更新時刻を示します。古い数値を現在値と取り違えさせないための、Display なりの誠実さです。

画面はタッチ対応ですか。Display 本体で設定できますか

3.5" と **4.0"** モデルは対応しています。スワイプでセンサーを切り替え、歯車で設定を開けます。**1.47"** モデルはタッチ非対応で、すべてブラウザーのポータルから設定します。

更新すると設定は消えますか

いいえ。更新ではすべて保持されます。設定が消えるのは**工場出荷時リセット**のときだけで、そのリセットでも機器の登録は保持されます。

第 15 章

仕様

項目	仕様
機能	Aquarino 機器のリアルタイム表示パネル
モデル	1.47"（タッチなし）· 3.5" と 4.0"（タッチ対応）
データ元	Aquarino KH および Aquarino Controller — ローカルネットワークまたはクラウド経由
連携方法	ネットワーク上の自動検出、IP、UUID（どのネットワークからでも利用可）
追跡センサー数	1台あたり最大24個。1機器あたり最大5台の Display
データ元の読み取り	1分ごと（5、15、30、60分に変更可）
ローテーション	工場出荷時はセンサーあたり 5 秒（2〜600 秒に変更可）
画面設定	明るさ 30〜100%、ダーク／ライト／ネオンのテーマ、画面の向き 0/90/180/270°、ナイトモードの時間指定
言語	ポルトガル語と英語
ショートカット	コマンドボタン 最大4つ（タッチ対応モデル）
通信	Wi-Fi 2.4 GHz
設定方法	ブラウザーのポータル（全モデル）と本体画面の設定（タッチ対応モデル）
更新	インターネット経由で自動。設定は保持されます
電源	5 V / 1 A ワールドワイド電源アダプター、USB-C コネクター（付属）
筐体	PLA 製プリントケース

第 16 章

サポートと保証

16.1 サポート窓口

ご案内やお手伝いが必要なときは、いつでもご相談ください。私たちがお手伝いします。

窓口	連絡先
メール	aquarinocontroller@gmail.com
WhatsApp — ユーザーグループ	https://chat.whatsapp.com/Hp9GjAmptpUEzbykjlUCMC
ウェブサイト	https://www.aquarino.com.br/
YouTube	https://www.youtube.com/c/aquarino
Facebook	https://www.facebook.com/AquarinoController

> ヒント
>
> **サポートを早く受けるために**
>
> 機器の **UUID** をご用意ください。登録画面とポータルに表示されます。
>
> 起動バーがどの段階で止まったか、あるいはパネルにどのメッセージが出ているかをお知らせください。
>
> モデル（1.47"、3.5"、4.0"）とファームウェアのバージョン（ポータルで確認できます）をお伝えください。

16.2 保証

Aquarino は、Aquarino Display が厳格な品質試験を経ていることを保証し、購入日から **1年間**、製造上の欠陥および正常な動作を損なう技術的な不具合を対象とする保証を提供します。

保証条件

12 保証は製品に付随します。保証期間中に売却した場合、新しい所有者も同じ条件を受けられます。

13 製品は本マニュアルの指示に従い、本来の用途で使用してください。

14 誤用、落下、事故、不適切な設置、認められていない改造、推奨されていない部品やアクセサリーの使用による損傷、および不適切な電源や電圧変動に起因する問題は保証の対象外です。

15 保証を利用するには、購入時の領収書を提示し、発生している問題をご説明ください。

16 修理または交換の期限は、正規サービス窓口に製品が到着してから最長30日です。

17 保証期間内で修理できない場合、Aquarino は新品との交換を行う権利を留保します。

保証の申し込み方法

上記のいずれかの窓口からご連絡ください。その際、領収書をお手元に用意し、問題の内容をお知らせください。担当チームが次の手順をご案内します。

Aquarino Display をお選びいただき、ありがとうございます。よいリーフライフを！